旭川	 工業高等		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成31年度 (2	 2019年度)	授美	美科目 1	 食農・医福演習	
科目基础		19	,		/				
科目番号 0048							/ 選択		
授業形態 演習						位数	履修単位: 1		
開設学科機械システム工学科			 ステム工学科	工学科			4		
開設期	開設期 後期				週時間数	週時間数 後期:2			
教科書/教材 教科書は使用しない/配布プリント、ホーム				゚リント、ホームペ	ージ				
担当教員		宇野 直	嗣,後藤 孝行,戸村 豊日	明,森川 一,杉本 敬	祐,松浦 裕志,平 智	雪幸,阿部	敬一郎,辻	雅晴	
到達目標	標								
2. 食品加3. 複合	加工の技術、 ・融合分野/	衛生管理な	る分析法を理解し、活 などを理解し、説明す つながる各種技術の基	ることができる。)			
ルーブ	リック								
			· ·			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1				おける基礎技術を融合し活用する お		食・農・医福分野と工学系分野に おける基礎技術を身につけること ができる.		食・農・医福分野と工学系分野における基礎技術を身につけていない.	
評価項目2									
評価項目									
学科の	到達目標	項目との	関係						
教育方法	法等								
概要		イノベ 他分野 実験を	ーションにつなげるた に融合できる素養を身 修得(体験)する。こ	品製造分野および医療・福祉分野に、工学系科学分野(機械・電気・情報・制御・化学・バイオ)を活用し、ションにつなげるための導入科目である。農業・食品製造分野に関わる基礎的な技術を習得する。工学技術を合できる素養を身につけるために、IoTに関わる技術、3Dブリンタ技術や分析技術についての基礎的実習・は、4体験)する。これらの分野を通して得られる大量のデータを分析・解析するための基礎知識も学ぶ。					
授業の進	め方・方法	ノベー ロジェ	ションにつなげるため クトに期日を自ら設定	「は、旭川高専の特任教員および4学科の教員が担当する。食品農業・医療福祉に関する複合融合分野でのイ 」ンにつなげるために、そのベースとなる技術を習得できるように基礎的な実験・演習を行う。学習対象のプ 、に期日を自ら設定して推進するため、マネジメントスキルを併用する。					
/本校ホー 注意点			「一ムページ参照)の作 期末試験は実施せず、 と。 「ベースドラーニング」	(北海道ベースドラーニングプログラム"の中の1科目として位置付けられており、別に示す専門科目(6科目ムページ参照)の他に、本講義を含む6科目を習得することで、プログラム修了となる。 未試験は実施せず、主に小テストとレポート課題で評価を行う。よって、欠席・遅刻すること無く授業に参加 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
授業計	画								
		週 授業内容				週ごとの到達目標			
		1週	土壌分析			作物の栽培に必須である土壌についての成分分析(定量)することができる。			
	3rdQ	2週	化学・食品分析実験	 化学・食品分析実験			食品添加物や生体物質を定量することができる。		
後期		3週	センシングデバイス	センシングデバイス演習			・各種センサーを適切に動作させることができる。 ・光を電気信号に変換するための素子を適切に選び、 光の強度変化を測定できる。 ・透過光の波長依存性を測定することができる。		
		4週	IoT基礎演習 〜マイコンを使った制御			マイコンを使用して、外部電圧信号を受信することができる。 受け取った信号を元にPWM信号を生成し、モータ速度を制御することができる。			
		5週	3 Dプリンタ演習 1	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			3 D-CADで、3D-プリンタの特徴を理解して、部品の モデリングと出力を行うことができる。		
		6週	3Dプリンタ演習2	3 Dプリンタ演習 2			3D-CADで、3D-プリンタの特徴を理解して、部品の モデリングと出力を行うことができる。		
		7週	タブレット用アプリ	タブレット用アプリ作成演習1		簡単なタブレット用ソフトウェアを作成するための開 発環境を構築できる。			
		8週	タブレット用アプリ	タブレット用アプリ作成演習 2		簡単なタブレット用ソフトウェアを作成することができる。			
	4thQ	9週	データ分析の基礎 1	データ分析の基礎 1		大量のデータから「情報・知識」を導き出す、データ 分析の基礎的な考え方を理解することができる。			
		10週	データ分析の基礎 2	データ分析の基礎 2		テキストマイニングを題材に、多変量解析の共起ネットワーク・クラスター分析などについて、その活用方法を説明できる。			
		11週	データ分析の基礎3	データ分析の基礎3		代表的な分析手法である多変量解析から、主成分分析 や重回帰分析などについて、その活用方法を説明でき る。			
		12週	プロジェクト・マネ	プロジェクト・マネージメントスキル1		期日内に、求められる品質と機能を実現するための手 法が理解できる。			
		13週	プロジェクト・マネ	プロジェクト・マネージメントスキル 2		納期を遅らせる不測の事態を予測する方法を理解し、 工数管理手法を説明できる。			
		14週	食品加工・製造 1			食品加工・製造の仕組みを理解することだ		仕組みを理解することができる。	
		15週	食品加工・製造 2			食品加工・製造の仕組みを理解することができる。			
		16週						·	
モデル	コアカリ:	キュラハ		 目標					
<u></u>		分野		<u>ロル</u> 学習内容の到達目標	票			到達レベル 授業週	
評価割る	 合	1/2 2-3	1, 11, 11					1	
<u>ь і ішісі і</u>	—								

	課題・小テスト	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	40	40
専門的能力	30	30
分野横断的能力	30	30